

2025.6.5 (木)
第 44 回例会
(通算3806回)

2024-2025 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「地域を愛し、未来を語る ロータリーの輪を広げましょう」

第86代会長 高橋 直人
副会長 吉田 英一
幹事 東堂 光春
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2024-2025 年度
国際ロータリーテーマ



2024-2025 年度
RI会長 ステファニー A. アーチック
第 2500 地区ガバナー
小谷 典之 (帯広西 RC)

本日のプログラム 「クラブアッセンブリー」(次年度理事会)

次週例会 会員卓話北海道新聞社 釧路支社 支社長 三宅 康夫 君 (プログラム委員会)

- ロータリーソング：奉仕の理想 ■ソングリーダー：濱口 憲太君
- 会員数 104 名
- ビジター
- ゲスト

会長の時間 高橋 直人会長



皆さん、こんばんは。今日はクラブアッセンブリーです。思い起こせば、昨年のアッセンブリーで会員の皆さまから数多くの質問、指摘を受けてから 1 年が経ちました。自分に釧路ロータリークラブ会長をやり遂げることができるのかなど不安でしたが、始まると次から次とやることがあり、時間に追われる日々でした。副会長、幹事、理事者の皆さまのお力添えのおかげで何とかここまでたどり着くことができました。

次年度三役は、荒井エレクトは法律のプロ、池田副会長はローンのプロ、横田幹事は会計のプロです。事前にクラブ活動計画を拝見しましたが、素晴らしい計画書でした。90 周年を前にして、会員の思いが詰まった計画書です。今日、会員の皆さままでご審議していただき、荒井丸の出港を微力ながら全力で応援したいと思います。

最後にになりますが、今日のアッセンブリーがスムーズに進むことを願ひまして、本日の会長あいさつとします。今日も楽しい例会にしましょう。よろしくお願いいたします。

幹事報告 東堂 光春幹事

皆さん、こんばんは。

6月のロータリーレートは 144 円となっております。よろしくお願ひいたします。幹事報告は以上となります。

■本日のプログラム■ クラブアッセンブリー

荒井 剛会長エレクト



ここからは次年度が進めさせていただきます。次年度会長を仰せつかることになりました、荒井剛です。こんばんは、

よろしくお願いいたします。

本日はクラブアッセンブリーということで、裁判所より緊張しているかなと思っております。何かと不備があるかと思いますが、ぜひ最後までお付き合いの程、よろしくお願いいたします。慣例に従ひまして、私が議長を務めさせていただくこととなります。よろしくお願いいたします。

冒頭に次年度三役と副幹事 2 名をご紹介させていただきたいと思ひます。お名前をお呼びしますので起立をお願いいたします。副会長・池田一己君、幹事・横田英喜君、副幹事・田坂渉君、同じく副幹事・日理一哉君、私、荒井剛、この 5 名で次年度、しっかりと皆さまのお役にたてるよう頑張つてまいりますので、どうぞ一年間、よろしくお願いいたします。

以降は着座のまま進めさせていただきたいと思ひます。

はじめに、本日の次第について簡単にご説明をします。皆さま、お手元に 2025-2026 年度クラブ活動計画書案があると思ひます。もし、ない方はご自身のパーソナルボックスに入っていると思ひますので、お持ちになつていただければと思ひます。

はじめに、私から会長基本方針の説明をさせていただきます。その後、横田幹事よりクラブ概況および会務方針の説明、続きましてクラブ運営委員会から順に、各委員会方針を委員長または副委員長の皆さまにご説明していただき、最後に S A A のご説明にて委員会方針は終了となります。その後に横田幹事より次年度予算案のご説明をさせていただきます。最後にすべての議題一括にて質疑を受けたいと思ひます。ぜひ、ご理解ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

なお、以降は、次年度予定者等の次年度の文言は割愛させていただきますので、よろしくお願ひ申し上げます。

はじめに会長基本方針について、ご説明申し上げます。ご承知のとおり、ロータリークラブは 1905 年にアメリカのシカゴで誕生しました。今年が 2025 年ですので、すでに 120 年目を迎えることとなります。また、日本のロータリーが誕生して、さらにその後、釧路ロータリークラブが誕生したのが 1936 年 11 月 13 日になります。その釧路ロータリークラブが誕生し、今年で 89 年、来年には、いよいよ 90 年を迎えることとなります。このように国際ロータリーが誕生して 120 年、釧路ロータリークラブが誕生して 89 年、90 年を迎えることとなります。長い歴史と伝統は、日々誇りをもって高度な道徳的な水準を守り、人道的な奉仕活動を通じて、世界中の人を笑顔にしてきた世界中のロータリアンが築き上げてきたものだと思います。よく「ロータリーは何をしているのか？」と聞かれる



ことがあります、長いロータリーの中で特筆すべき活動として真っ先に誇れるものは、ポリオの撲滅運動ではないかと思ひます。世界

125 か国、世界約 30 億人の子どもにポリオ予防接種を行ってきました。まだ残念ながら 2 か国で野生型ウイルスによるポリオ発症が見られますが、世界の発症数は 99.9% 減りました。これはロータリーの史上最大の挑戦であり、最大の功績だと思ひます。今年度の R I カマルゴ会長は、ロータリーの最大の財産は会員であり、会員増強の必要性和重要性に言及したうえで、「よいことのために手を取り合おう」との

メッセージを発信されました。また、国際ロータリー第 2500 地区佐渡ガバナーは、地区スローガンとして「ロータリーのことを熱く語ろう、ロータリアンベネフィットを紡ぎ、そして育むために」を掲げました。世界中のロータリアン一人一人がロータリアンとしての誇りを持って、笑顔でロータリーを熱く語り合うことで手を取り合い、世界でよいことをすることにつながると思ひます。

取り巻く環境や時代背景は違いますが、同じ弁護士としてポール・ハリスに思いをはせながら、会員一人一人が笑顔で、またロータリアンとしての誇りを持ち、挑戦して行くことで新しい歴史と伝統の 1 ページを作り、釧路ロータリークラブ 90 周年につなげて行ければと思ひます。

そこで本年度の釧路ロータリークラブのスローガンを「笑顔と誇りを胸に挑戦するロータリー」にしました。ここでいう笑顔、誇り、挑戦をもう少し具体的に、クラブ活動目標に落とし込みました。

まず、笑顔についてですが、親睦や交流を大切にしているクラブの温かい雰囲気、楽しいから笑顔になっているのではなく、笑顔でいるから楽しいことがやって来るといふモットーで私はいますので、笑顔、笑顔ということ大切にしたいと思ひます。

クラブ活動目標としては、1. ハラスメントのない楽しい例会、前向きになれる例会、会員相互の交流に努める。2. 会員増強と退会防止。特に入会 5 年未満の退会防止、来年 90 年度を迎えるにあたって、最大会員 120 人を達成するための土台作りを目指す。3. 分区事業としての全道中学親善硬式野球大会への支援協力、当クラブの青少年奉仕事業としてのロータリーカップやローターアクト、インターアクトクラブとの交流を通じ、青少年の笑顔にふれる。

次に誇りについてです。誇りについてはロータリアンとしての自覚と地域社会への貢献を意味すると思ひます。それをクラブ活動目標にしたのが、4 から 6 になります。4. ロータリーの研修、世界のロータリーの活動を知る機会を設ける。ここでいうロータリーの研修というものは、ロータリー自体のこともそうですが、ロータリークラブ自体は国際組織ですので、ロータリー自体がどういう組織なのかということも知るの大事なのではないかと。また、最近では、国際ロータリーの規定審議会等でいろいろ改正がされることによって、国際ロータリーが各ロータリークラブにどこまで権限が及ぶのかということについて、各ロータリークラブの自主性についてということも少し思うところが実はありまして、そう思うかどうか、それに対してどうするかということを考えるためにも敵を知るわけではないですが、しっかり国際ロータリーがどういう組織で、どうなっているのかを知ることが自分たちのクラブの発展にもつながるのではないかと。

防衛にもなるのではないかという思いもありまして、ロータリーの研修というところに入れさせていただいております。5. メークアップや他団体との交流、活動を通じ、ロータリアン、釧路ロータリーとしての誇りを再認識する。6. いよいよ来年度の90周年に向けた釧路ロータリークラブの歴史への理解を深める、ということを考えております。

最後に挑戦。現状維持は衰退だというのが自分の中のモットーでありますので、新しい活動や変革への意欲をクラブ活動目標として落とし込んでおります。7. 他クラブ、他地区と共同での国際奉仕事業の実現。8. 地区事業への参画。9. 台北で開催される国際大会に参加する。10SNSを活用したクラブ活動の広報。以上が会長の基本方針として掲げさせていただきました。

続きましてクラブ概況及び会務方針について横田幹事から報告をお願いします。

クラブ概況及び会務方針 横田 英喜次年度幹事

次年度幹事を予定しております横田です。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。それでは座って説明させていただきます。

クラブ概況及び会務方針については、1番、会員数及び会員の年齢はご一読いただければと思います。活動計画書作成時は105名でしたので、6月時点の105名で概況及び後ほど説明します予算も105名をベースで進めさせていただきます。

2番、会員の年齢及び3番の会員の在籍年数の分布については105名全員が昭和生まれとなっております。また、分布につきましてはご一読ください。

4番目、クラブの財政についてです。昨年度、会費を年額16万円に上げさせていただいておりますので、今年も引き続き同額として、上期及び下期にそれぞれ8万円を納入させていただきたいと思っております。その2のニコニコ献金につきましては、今年度も例年同様、目標額は80万円を目標とさせていただきたいと思っております。5番6番の理事会及び委員会活動については、例年どおりですのでご一読いただきたいと思います。委員会活動の委員会名簿については、5ページにありますので皆さん、ご確認をいただきまして一年間、協力お願い申し上げます。

続きまして4ページ、7番のクラブ協議会です。第1回目は、本日の活動計画書案の協議となっております。第2回目は、来週6月12日に行われますガバナー補佐によるクラブ協議会、3番目4番目については、ご覧の日程となっておりますので、ご確認、また協力お願いいたします。8番目の総会については、例年どおり12月の第1週木曜日の12月4日に年次総会を予定しております。9番目10番目11番目については、例年どおりですので、ご一読いただければと思います。

12番目の例会については、ビジターフィーですけども、今年度も昼は3,000円、夜間例会については6,000円とさせていただきたいと思っております。2の年末家族会は12月の第2週12月17日に予定しております。新年交礼会は1月8日、最終例会は6月29日を予定しております。また、新年会員歓迎会については、上期下期各1回の開催を予定しております。13のその他については、先ほどの荒井会長の活動方針を受けまして作成をさせていただいております。挑戦にありましたとおり、他クラブの他地区との共同での国際奉仕事業という部分もありますので、それを踏まえて予算組みをしております。ご一読いただければと思います。

以上となります。

各委員会の内容については

2025-2026 釧路ロータリークラブ活動計画書
をご一読下さい。

質疑応答

小船井修一パストガバナー

2点あります。国際奉仕委員会で台北中央ロータリークラブとの関係の項目がありましたが、先週の31日に札幌で日台親善大会がありました。その際、パストガバナーの頼志明（ライ・ジミー）さんにお会いしたところ、「12月1日に開催します」とご案内がありました。その日程でご準備いただければ幸いです。特に40周年ですので、こちらは、釧路クラブが来年90周年ということを踏まえておりますので、「たくさん来て欲しい」と言われております。これは、報告です。

もうひとつは、クラブ研修委員会ですが、今年の4月中旬にシカゴで開催された規定審議会で「研修」から「ラーニング」、「学習」と言葉が変わりました。言葉が変わるということは中味も変わることです。その中身をどう変えるかは別に、従来、クラブ研修リーダーという名称がありました。釧路ロータリークラブは「クラブ研修リーダー」という名前を採用していませんが、これは義務とは言いませんが、推奨されています。従って、研修委員長が本来はクラブ研修リーダーとなるべき所だと思います。そのクラブ研修リーダーの名前が「クラブ・ラーニング・ファシリテーター」と変わりました。

もし、公式訪問の時に「ラーニング・ファシリテーターは誰ですか」と問われた時には研修委員長の名前を言っていただければ幸いです。

以上です。

荒井 剛会長エレクト

小船井パストガバナー、ありがとうございます。2点の報告の1点目の台北の40周年事業を12月1日と承りました。釧路クラブからもできるだけ多くの皆さんと一緒に参加できたらと思っております。来年度の90周年に向けてということもありますので、ぜひ、参加したいと思っております。来年の6月には台北で国際大会もありますので、2回となるかもしれませんが、一人でも多くの方と行ければと思っております。2点目のクラブ研修リーダーの名称がクラブ・ラーニング・ファシリテーターに変わったことについては、承知いたしました。そのような趣旨の質問をされた場合には、当クラブの研修委員会委員長がクラブ・ラーニング・ファシリテーターと考えておりますと回答させていただこうと思っております。ありがとうございました。

他に質問、ご意見ある方は挙手をしてください。

吉田 潤司パストガバナー

活動計画書、荒井さんはさすがにスマートに綺麗に作っておりました。私には一部、不満が少しあるのです。会長の基本方針というのは、毎年もう少し会員増強について深く書いていたのですけれど、今回の会員増強については残念ながら2行、11字くらいしか書いていないのですね。中味を見ると、会長は増強というのがあるのですが、一体全体どのくらい増強について熱意とか、会員に対しての希望とかをもう少し深く話して欲しいと思いました。

ふたつめは、うちのクラブには財団とか社会奉仕とか、いろいろな事業に対してのスペシャリストがすごく多いのですね。ただ、あまりにもそのスペシャリストと一般会員との差が少しあります。知識の差ですね。特に、財団とか国際奉仕は私も疎いです。疎いと言うのは失礼な言い方ですけども、経験が不足なのです。うちは、荒井さんのような国際奉仕、財団に非常に詳しい方がいて、地区の補助金事業でも木下君には熱心にやってもらっています。台北の件については小船井さんがやっています。なんか、上層部だけが苦勞しているような気がするのです。

例えばこの間、タイに行きましたが、私もタイに行こうかなと思っているうちに、確か、案内があまりなかったような気がしたのです。「何月何日にあります。こういうのを行います。費用はこのくらいかかります」とか、少しレベルを下げた行っていただくと、参加することで覚えると思うのです。これについても会長の考え方を聞きたいと思います。

以上です。

荒井 剛会長エレクト

ありがとうございます。ひとつめ、会員増強の関係です。会員増強に対する熱意はめっちゃめっちゃ持っております。短い2行ではありますが、目標は大きく掲げて90周年に向けて120人にする土台作りで、今年は何人という目標は明確にはしていないと言えるかもしれません、120人に向けてということで、120人は今の会員数から2割が増えることですので、数字としてはそこを目指します。

では、具体的には何をどうするのかについてですが、基本的に会員増強をどう図るのかについては、それぞれのメンバーが釧路クラブを好きになっていただいていることが大前提になると思います。自分のクラブが好きだ、このクラブに自分の好きなメンバー、日ごろから交流されているメンバーを連れて行きたいという思いを普及させて、どんどん増やして行きたいという思いがもちろんあります。

自分たちが、クラブに入りたいという人たちをリストアップする従来のやり方があります。その従来のやり方を当然行いつつ、どうするかについては、小野寺委員長とは既に協議をしております。

また、今年度、来年度にすぐ実を結ぶわけではないとするところについては、だいたい先のことを考えるという意味で、今年、「青少年の笑顔にもふれる」でも書いています。釧路には、教育大学と公立大学の大学があります。その大学にも赴いて。最近釧路ではない所から公立大学に来て、そのまま釧路に残る人もおります。すぐに入って、すぐにロータリーにはならないかもしれませんが、大学の時に「ロータリーとは何か」「ロータリーはこのような活動をしている」などを植え付けるわけではありませんが、そこで交流を持っておくことが将来の釧路のロータリアンにつながるのではないかと思います。そういう意味で、将来的な会員増強の活動もしたいと思っております。以上が会員増強に関わる思いと考えです。

ふたつめ、国際奉仕活動については、ごもっともだと思っております。国際奉仕事業として、これまで、今年度もグローバル補助金活動としてタイのとあるクラブと一定の事業を行ったのですけど、その贈呈式に参加できたのは当クラブからは4人しかいませんでした。当クラブは100人を超えるメンバーですから、本来であれば事前に案内をしてできる限り多くの方で行くのがふさわしいと思っております。それが理想的だと思っております。次年度、私が国際奉仕関連のことを行っていたこともあって、挑戦するという関係でいくと、自分のクラブでもそうですが、他のクラブの方と話をしていると、人数が多いクラブでも「国際奉仕事業とは何なのか」「やってみたいけど、どんなものか分からない」と言う人が多いと聞いています。具体的にクラブ名を上げますと、帯広ですが「人数は多

いけど行ってない。けど、行きたいんだ」と次年度会長予定者からも声を掛けていただいております。これをふまえると、他のクラブと共同して国際奉仕事業を計画して参加することができないかを考えております。それに当たっては、「〇〇クラブと□□事業を行おうとしています」と案内をして、理事会にもかけて進めて、これが実になる贈呈式になりそうだとすれば、それを案内して一人でも多くの人と一緒に行ければと考えております。

私自身、東南アジアに全く行ったことのない人間でしたので、ロータリークラブに入って10年と少し前に、初めてタイに国際奉仕事業の一環として何も分からずに行ったことが今に続いています。そのような経験をする事自体が今後のロータリー活動に大きく・大きくプラスの影響が及ぶものと思っております。ぜひ、一人でも多くの方とそのような体験を共有したいと思って次年度に臨みたいと思っております。

よろしいでしょうか。

杉村 莊平パスト会長

僕の質問も拡大についてですが、120人に向けてということで、僕も頑張りたいと思えますし、協力して行きたいと思っております。

120人を目指すということ、できれば荒井年度でも何人というのを出してもらえると、なお良いかなと思えますが、まずは120人をみんなで目指しましょうということですね。

僕の個人的な思いが多分に入ってしまうのですが、会員増強をやっていくには地域の力、簡単に言えば地域の経済力と表裏一体だと思っています。いい話になりませんが、大学も短大がなくなったり、みずほ銀行が撤退したり、学校が統廃合されたり。僕が思うには、釧路という街は船の底に穴が開き始めて、少し水が漏れているような状況になりつつあるのだと思います。

そこを見ないで、会員増強を言ってもだめだと思っています。個人的な思いとしては、ロータリーとしても少し地域に関わる、地域に貢献するという色をもっと出さないとダメだろうと思っていました。

国際奉仕も大事で、一生懸命にやらないとならないと思えます。来年度の会長方針を見ていると、地域に関わる事がそんなに出ていないようなところがあります。そのことはどうお考えでしょうか。

荒井 剛会長エレクト

ありがとうございます。そうですね、ふれ忘れた所がありましたので補足させていただきます。国際奉仕事業は全て国外に向けた事業に限らなく、国内に対する事業としても活用できます。

いま2500地区で話題になっているのですが、マレーシアで行われるグローバル補助金の中で、ロボット工

学というかロボティクスというのか、割と高度な技術を大学生レベルを対象とするグローバル補助金を実施することが、まだ承認はされていませんが7つの重点分野の地域経済の発展という分野にかかわるところで行おうとしているのだと思います。

その意義は、帯広ロータリーが事業に参加するところが注目されています。こちらが向こうに行く話ではありますが、逆に、そのロボットや高度な教育的なものを道東の高校生や大学生を対象にしたプロジェクトができるのではないかという思いがあって、そこに向けた動きができないかなと思っています。

地域に関わるという意味では、地域の若者に特化した関りかもしれませんが、そのようなプロジェクトが来年できるかもしれません。それに向けた土台作りにならないかと、そういう活動ができないかと思って臨もうと思っています。

杉村 莊平パスト会長

ありがとうございます。そういうところだと思います。くどいですが、僕が思っているのは、そもそも、あと5～10年で釧路は大学が維持できなくなるのでなからうか。人口減少が止まらないのではないかが危惧されています。それにロータリーがどうこうという話ではないのですが、その根っここのところにもう少し関わって行く姿勢、そこにもう少しロータリーが出てもいいのかなと思えますので、90周年に向けて地域に関わることをもう少しコミットして行ければと思っておりますので、そこを意識してもらいながら、と思えます。

荒井 剛会長エレクト

ありがとうございます。意識させていただきます。

工藤 彦夫会員

12ページのクラブ会報・雑誌です。聞き逃していたらごめんください。今回、公共イメージ委員会というのを付けました。説明していませんよね。委員会名を変えた理由を、その思いとかあればお聞きしたいと思えます。

荒井 剛会長エレクト

ありがとうございます。委員会の名前を変えたことですが、これは、内容を変えたというよりも名称に追加をしております。なぜ、これを思い立ったかというと、釧路ロータリークラブ定款第11条の理事及び役員及び委員会の中の第7節に委員会の規定があります。本クラブは次の委員会を有すべきである。クラブ管理運営、会員増強、公共イメージ、ロータリー財団及び奉仕プロジェクトと明示されております。ところが、これまで公共イメージと名のつく委員会が定款に

記載されているにも関わらず、表面的にはなかったの
で、それに合わせないといけないという思いで名称を
追加、名称をそれに合わせる形にしたということです。
内容を変えることはなく、定款に合わせる形で委員会
名称に追加したことになります。

工藤 彦夫会員

その公共イメージをアップする意味だと思います。
その思いはありますか。先ほどは SNS の話を聞きま
したが、もう少し詳しく。

荒井 剛会長エレクト

公共イメージ自体はよく言われることで、ロータ
リー活動を対外的に発表する手段として SNS を活用
すべきだと言われております。もちろん、フェースブ
ックはあるのです。今年度は東堂幹事がたくさん上げて
いただいていたのですが、このような活動はいいなと
思っておりますので、それを継続したいと思えます。
できるか分からないことですが、私自身が月に 1 回く
らいは会長のデジタル新聞みたいなものがないか
なと思っております。世界のロータリークラブを見ると、
会長が月に 1 回「会長通信」みたいなものを発信
する所が多いように思えて、今はデジタル社会ですの
で、デジタル化して配信出来ればいいなと思ってい
ます。それが、公共イメージにつながるのかとなります
が、会員向けの通信だけに限らず、作ったものをフェ
ースブックなどでも多くの人が見られるような所に張り
付けることで、対外的に発信できるのではないかと
いうことで公共イメージのアップにつながるかなと思
っています。

できるかは分かりません。挑戦したいと思ってい
ます。

荒井 剛会長エレクト

じゃ、毎月発信するようにします。

木下 正明パスト会長

荒井年度に直接関係はないのかもしれませんが、荒
井年度の次の工藤年度が 90 周年ということで、90
周年に向けての予算組では荒井年度で行わなければな
らないこととしてご検討されているものがあるのかど

うか、お聞きしたいと思います。

横田 英喜次年度幹事

横田から説明させていただきます。正直言いますと、
特別に積極的な部分はありません。今回、台湾
の周年だということで、場合によっては国際大会も
あって 2 回行くので、国際奉仕の部分で増額して予算
が足りないと思って積立金を取崩すか、という選択は
したのですが、90 周年には台湾の方にも来ていただ
くことを考えると、この積立金はその時のためにとっ
ておくのがいいという選択での配慮はしております。

今回、取崩したかったけど取崩さなかったという配
慮に留まっているのが現状です。

木下 正明パスト会長

ありがとうございます。吉田ガバナーを輩出した際
に余ったお金とかも少しありますので、90 周年にそ
れを使えるかどうかはいろいろあると思いますが、そ
れも考えながら進めていただければいいと思います。

荒井 剛会長エレクト

ありがとうございます。他に質問、ご意見などあり
ますでしょうか。

なければ、これで 2025-2026 年度の活動方針と活
動計画書を皆さんでご確認いただいて、ご了承をいた
だいたということで、よろしいでしょうか。

よろしければ拍手をお願いします。

(拍手)

ありがとうございます。本日、2025 年 6 月 5 日は一
粒万倍日となっております。何かを始めるには最適な
日とされています。ついでに申し上げますと、さらに
金運がアップするという己の日が重なる縁起がいい日
です。

この良き日に第一歩を踏み出せたこと、大変嬉しく
思っております。一年間、釧路ロータリークラブの会
長を務めることができることについて、喜びと誇り
を感じながら、楽しみながら笑顔で挑戦したいと思
います。

本日はありがとうございました。

これでマイクを本年度三役に戻したいと思えます。
よろしく願いいたします。

本日のニコニコ献金

■米本 富夫君 この度、無事会社の代表を退任することが出来ました。これからも皆さん
宜しくお願い致します。

■残間 巖君 今年も妻の誕生日に素敵なお花を頂きました。どうもありがとうございます。

今年度累計 493000 円